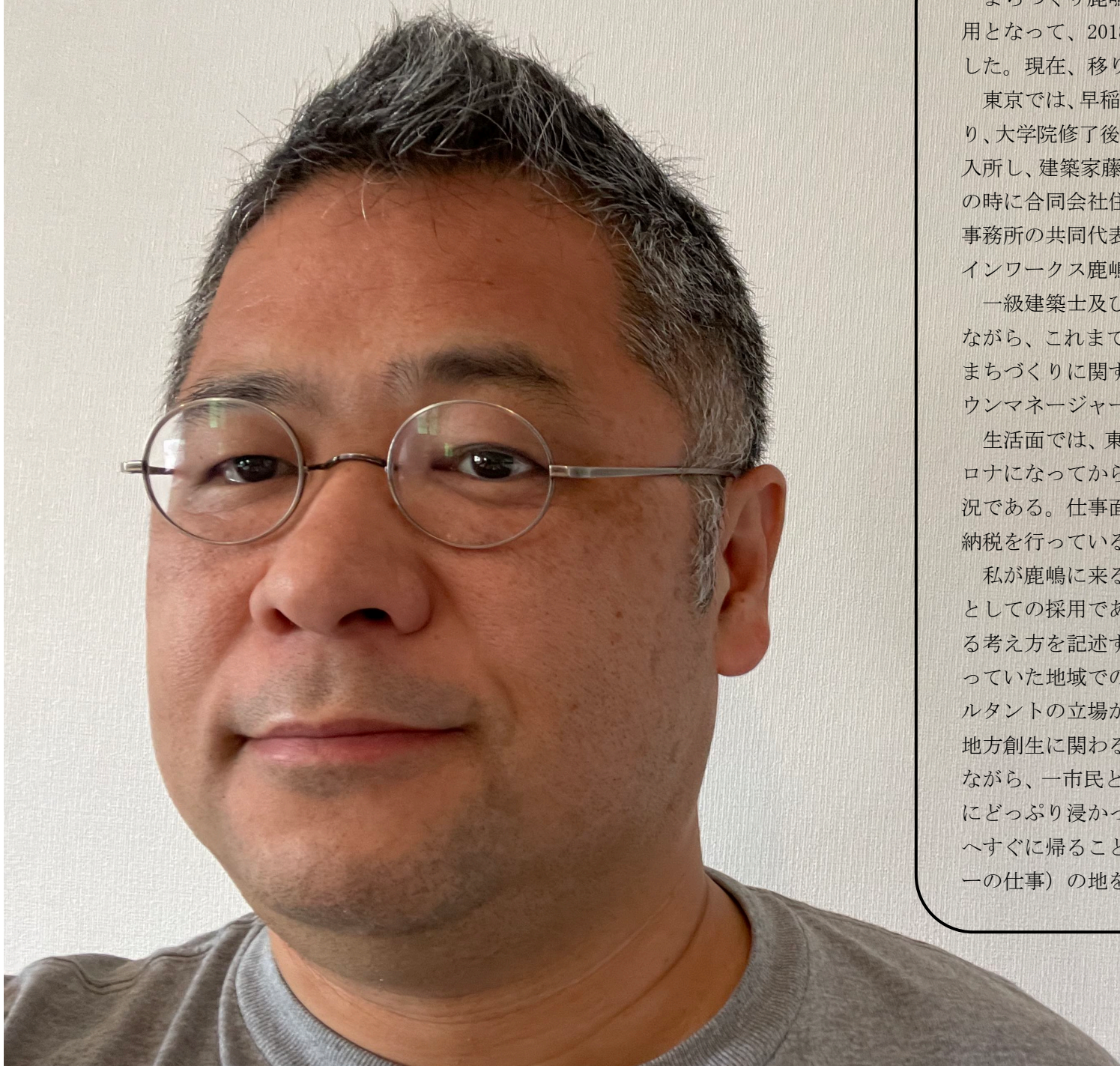


移住人 01

さいとう
済藤

てつじ
哲仁(1970 年生)



まちづくり鹿嶋株式会社のタウンマネージャー公募があり、採用となって、2018 年 9 月に東京から単身移住して、業務に着任した。現在、移り住んで 4 年目。

東京では、早稲田大学佐藤研究室でまちづくりにはじめて携わり、大学院修了後は株式会社現代計画研究所という設計事務所に入所し、建築家藤本昌也に学びながら取締役まで経験の後、45 歳の時に合同会社住まい・まちづくりデザインワークスという設計事務所の共同代表として参加し、現在は住まい・まちづくりデザインワークス鹿嶋事務所の所長を務めている。

一級建築士及び早稲田大学都市・地域研究所招聘研究員に属しながら、これまでに実践的に学びながら取り組んできた住まい・まちづくりに関する経験をフル活用して、まちづくり会社及びタウンマネージャーという職能を模索している。

生活面では、東京に家族を残した 2 地域居住を行っている。コロナになってからは、東京に月 1 回程度仕事も兼ねて出張する状況である。仕事面では、まちづくり鹿嶋株式会社を副業として、納税を行っている。

私が鹿嶋に来ることになったきっかけは、タウンマネージャーとしての採用であったが、そこに至る住まい・まちづくりに対する考え方を記述する。ここに来るまでの 25 年間は、出張で関わっていた地域での住まい・まちづくりをあくまでも設計やコンサルタントの立場からかたちに残してきていたのだが、鳥取等で地方創生に関わる機会の中で、地域コーディネーターとして住みながら、一市民として仕事をする方々に接する機会があり、地域にどっぷり浸かって取り組むことに可能性を感じ、週末には東京へすぐに帰ることが出来る首都圏周辺で移住(タウンマネージャーの仕事)の地を探していたところ、鹿嶋に巡り会えた。

まちづくり鹿嶋株式会社(2018年4月設立)とタウンマネージャーの仕事

<2018年9月~2019年3月>

<2019年4月~2020年3月>

<2020年4月~2021年3月>

<2021年4月~2022年3月>

- ①中心市街地土地建物利活用調査
- ②まちづくり意見交換会の開催



- ③門前かみの市の開催

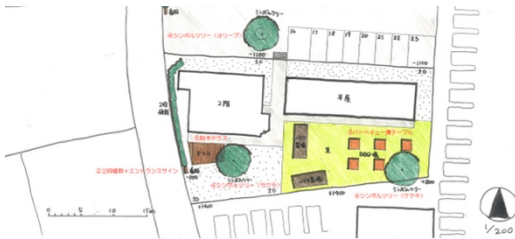


- ④つなフェスの開催
- ⑤イベント出店
鹿嶋まつり・大彩まつり・竜王戦
- ⑥鈴木みやげ店への出店検討
- ⑦デマンドタクシー受付業務委託

- ①地域まちなか活性化・魅力創出支援事業費補助金（経産省）の採択
- ②日本博補助金（文化庁）の採択



- ③門前かみの市の開催
- ④つなフェスの開催
- ⑤イベント出店
鹿嶋まつり・はまぐり祭り・神幸祭
- ⑥鹿八・ネットボール協力
- ⑦鈴木土産店・新仲家・古保里の検討



- ⑧土産品の商品開発（まんじゅう）
- ⑨まちかし（コワーキングスペース）運営
- ⑩デマンドタクシー受付業務委託
費用便益分析業務委託

- ①中心市街地活性化協議会の事務局
- ②官民連携まちなか再生推進事業（国交省）採択
- ③日本博補助金（文化庁）の採択
- ④門前かみの市の開催
- ⑤まち珈琲「あらみたま」改修・運営



- ⑥まち住宅（空き家の改修）



- ⑦新仲家のロビー改修
- ⑧土産品の商品開発（鹿嶋にんじん）
- ⑨デマンドタクシー受付業務委託
費用便益分析業務委託

- ①中心市街地活性化協議会の事務局
- ②官民連携まちなか再生推進事業（国交省）採択
- ③日本博補助金（文化庁）の採択
- ④門前かみの市の開催
- ⑤まち珈琲「あらみたま」運営
- ⑥まち住宅（新築賃貸の建設）



- ⑦オープンショップ鹿嶋商い元気塾
- ⑧街なか再生助成金（区画整理）
- ⑨住まい環境整備モデル事業採択
- ⑩鹿嶋市活性化事業補助金採択
- ⑪バスロジ駐車場看板工事調整
- ⑫デマンドタクシー受付業務委託
ふるさと納税業務委託
チャレンジショップマネジメント
業務委託

会社設立4年目に今後の事業展開を視野に110株から5,000株へ資本金の増資を実施